

## 第43回入間川地区ソフトボール大会競技規則

- 1 実行委員会で決定された事項については、チーム全員に連絡し徹底を図ること。
- 2 ベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
- 3 チームは、試合開始予定時刻の30分前までに当該グラウンドに集合し、バックネット裏にいる実行委員に打順表を提出すること。
- 4 攻守の決定は、打順表提出時に行うとする。
- 5 フィールドインギングは、行わない。
- 6 用具
  - (1) スロート (のど) ガード付きマスク…捕手は男女を問わず着用のこと。
  - (2) プロテクター：捕手は男女を問わず着用を推奨する。
  - (3) ヘルメット：男女とも着用すること。(打者、走者、捕手)  
※できれば両耳ガード、捕手は捕手用ヘルメットのもを次打者、コーチに付けること。
  - (4) 膝当付レガース：捕手は男女を問わず着用を推奨する。
  - (5) 靴：金属製スパイク・セラミック製スパイクは使用禁止とする。
  - (6) 服装：競技のできる服装とする。
  - (7) 帽子：帽子等の着用を推奨する。
- 7 競技者
  - (1) チーム構成
    - ①監督1名
    - ②出場選手の男女の構成比は問わない。
  - (2) 監督  
選手登録の上で選手として出場できる。
  - (3) 再出場  
原則として認めない。(リエントリーは認めない。)  
ただし、主催者及び相手方チームの責任者が相当の理由ありと認めた場合は可とする。
  - (4) エキストラヒッター (EH) 制は、採用しない。
  - (5) 10人目の野手は、フェア地域内ならばどこに位置してもかまわない。
  - (6) グラウンドの準備・片付け
    - ①第1試合のグラウンド整備は、ライン引きも含め第1試合の両チームが行うこと。
    - ②2試合目以降のグラウンド整備は、前試合の両チームが行うこと。ただし、連続してゲームがあり、移動が必要な場合は、負けチームのみで行う。
    - ③各グラウンドの最終試合の両チームは、試合終了後グラウンド整備と後片付けを行うこと。

(7) 塁審

塁審の選出については次のとおりとする。該当チームは3人選出すること。

①第1試合の塁審

第2試合の組み合わせ番号が若いチームまたは棄権したチームとする。

②第2試合以降の塁審

前試合の負けチーム（棄権も含む）とする。

※予定試合の両チームが棄権した場合は、組み合わせ番号の若いチームが塁審を行うこと。

8 棄権

次のとおり該当した場合は棄権とみなす。

(1) 組み合わせ抽選後に出場を取り止めた場合

(2) 当日、試合予定時刻になっても集合していない場合

※棄権により試合が行われないときは、その後の試合予定時刻が繰り上がるので、各チームは注意すること。

9 申し合わせ事項

(1) 大会開催要項及び上記以外の競技規則は、2023年オフィシャルソフトボールルールにより、審判長が決定する。

(2) 審判の判定については素直に従うこと。

(3) 試合終了後の抗議は一切認めない。抗議については監督とする。

(4) 出場資格等の反則が発見された場合は、当該チームの体育主任及び主催者側が確認協議のうえ、処分を決定する。

(5) 試合が連続するチームは、次の試合までの休憩は20分を目安とする。ただし、双方のチームの承諾があれば予定時刻を早めて試合に臨むことができる。

(6) 当日しようするオーダー表（打順表）は実行委員会で用意したものを使用する  
1試合で3枚（複写）使用する。（自分チーム用、相手チーム用、主審用）

(7) フェールボールは、そのボールに近い方のベンチ側が取りに行く。

(8) 次打者サークルでの素振りは禁止する。

(9) 応援席について、試合を行うチームがベンチとその隣り（テント1張分）を優先に配置することができる。（試合後は速やかに撤収し、次の試合の自治会に明け渡すこと）

※待機中のテントは試合を行うグラウンド付近に設置すること。

10 その他

①準備運動等を十分に行うこと。

②選手は、腕時計、イヤリングやネックレス等の装身具は着用しない。

③不快なヤジはお互いに慎むこと。

11 2023年オフィシャルソフトボールルール抜粋

(1) 打撃

① 2ストライク後のフェールボールは、三振となり、アウトとなる。

② バント及びチョップヒットを狙った場合、打者アウトとなる。

③ 死球による出塁は認められない。

④ 四球による出塁は認められる。

⑤ インフィールドフライは適用される。

⑥ 振り逃げはない。

(2) 走塁

- ① 走者は、投球が本塁に達する前に、離塁できない。離塁するとアウトになる。
- ② 投球が打たれない限り、走者は、進塁できない。
- ③ タッチアップは認められる。
- ④ 盗塁、及びワイルドピッチ、パスボールの進塁はない。
- ⑤ テンポラリーランナー (TEMPORARY RUNNER) とは、捕手が塁上の走者となっていて二死となったとき、あるいは二死後、捕手が出塁し、走者となったとき、捕手の代わりに走者となる選手のことである。テンポラリーランナーと交代させるかどうかは、攻撃側チームの選択である。  
テンポラリーランナーは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者とする。

(3) ベース

- ① 1 塁ベースは、ダブルベース（白色とオレンジ色に識別された一体構成されたベースで、オレンジ色部分はファール地域に設定される。）で、固定して使用する。
- ② 打者は、基本的に、1 塁ベースのオレンジ色に触塁しなければならない。  
なお、一塁を走りぬけた後は、白色のベースに帰塁する。
- ③ 守備側のプレーヤーは、常に白色ベースを使用する。

(4) ピッチャーと本塁間の距離

- ① 男女とも、14.02メートルとする。
- ② ピッチャープレートは、固定する。

(5) 投手の投球

- ① 投手は、投球動作に入る前は両足をピッチャープレートに触れていること。
- ② 投手は、地面から1.5メートル以上3.0メートル以下の弧を描くように投げる  
こと。